歴史年表の

三省堂編輯所編纂

最高權

威。

に多數諸學校の指定参考書に選定せら

の權威書として、多年重んぜられ、現 せね。本書は専門史家の間に本邦唯一 歴史を學ぶ者は年表を持たねばなりま 三六版總クロース製・紙敷五百數十頁

れて居ります。

南神保町電話四谷(五八七)事

發

行

所

東京大手町

會株

社式

Change Change Connect

**後**替東京三二五五五

發

兌

耕二



科告廣價定

大學制帽

4.00 4.50 6.00

## 店 新 FI 書

三省堂編輯所編纂

六法を引きよい、見よい、

ली

持ちよいコンサイス形と

して、専門家の書齋から

が辩證法

萬人の懐に普及したもの

第壹卷親族法相續法

制 史の 研 究 三浦周行著

**續法制史の研究**三浦周行著 響片照四十五六回線 總布表裝函人 | 送料內地書留卅六錢

白鳥博士還曆記念

51 营 t

見よい 特 ちょ

三方同色・爪カケ付の一般本・コンサイス形

定價一圓五十錢 **巡料普留十七** 

肇著資本蓄積論(mg/m)

函菊入版

宝質 | 上海画玉計総 | 一宝質 | 世壺 画 州 戦

Terr

画がかった

綱貝

邦著

200 161 10 三六列四百五十頁 经射 拾 貳 鐵

文奉士 森田鐵三郎先生西 洋 史擔任

妻木忠太先生日本東洋史擔任

交學博士 喜 田

貞吉先

生

檢閱

三方同色にして、清酒な窓匠が施

特價二圓五十錢

三省堂の六法 般化され

のとなりました。

冊貳第

食水

四六版クロス製

四月發行一智

備へねばならぬ時に當り 國民が悉く法律の知識を 選が實施されやうとして、 は本書であります。今普

淺

晃譯

(マルクス原著)

、忽請に附すべからざる貴重(デポーリン)、辯證法に関すところは、革命的辯證家としたる理解に達する。レーニン

冊五十四第

送料拾八錢 定價八拾五錢 四六版假

神戶正雄

著

弘

文堂…郵送料貳錢

本書の價値は愈っ高い

内容―必要と認むる法令を悉し越 令を含んでゐる。 せ、韓選・貴革・治安維持等の新法

校正―前くまで正確ならしめるた なきを期した。 めに校正十校に及び、絕對に課字

參

級闘爭。以

で必然的轉

用紙一弊社獨得の裏の透かぬ自色 無光泽の最上インデア・ベーハー

印刷―特選の細型活字によって細 優打―手ざはりよき羊革を川ひ。

近刊でサシズム河野密譯神

聖

家

定價

發宮本英脩著 定價 壹圓七拾錢

刑法學を稱して愛の刑法額と謂ふ。刑法學を稱して愛の刑法額と謂ふ。 1

輟井上直三郎著

定價

東京市神田區淡路町二丁目掘替、穴、阪一七〇五番 弘 艾 堂

近刊
環告第四冊河野密共譯
「反デューリング論(エングルス原著) 求めたる本書は、或る意味におその関争は經濟的から政治的に 族(マルクス共著 送料拾八錢 定價貳圓九拾錢 送料拾八錢 

定價五拾

六版

假

手 終 深 門 門 見 易養債券齡印度縣信託法稅制祭務

河上

肇博士編纂 \* ための必携文庫の水井シズム研究者の

(デボーリン原著)

河 冊十七第 L 

苦種の行き中り (高田博士の批評に答へ再び

電 時大 手 二 〇四 三 智 館

發

行

所

にする土にして「經濟配事の酸み方」を知らないものは恐らくなからうと思ふ。

(民にかしるものであるから、今年で下度十年にもなるが、今額返月港しい取り、た「経濟配事の酸み方」を知らないとの対象であるから、今年で下度十年にもなるが、今額返月港しい取り、た「経濟配事の酸み方」が登録したか加けやアしなかったが、港湾は、「二の科専門的の固苦しいものが多かた」は、我一人の家でに終るできるしい窓に突から大、と愛化した。大戦化の表別がして、これに十年扱に「新経滞配事の酸みかた」とは「新経済のかた」は、大正九年三月十五日の恋院な中心として無な人、悪に難から、「何の流れるやうな事が、発信し、「一の報済事業をある」と、「大正九年三月十五日の恋院な中心として無な人、悪になら、「一般理論から特別の経済場合、大田大学、野信問題、ドース家、英国会験出解美での一般議場係を有する世界の經濟場である。ゆき方は、前の本と同じ、、例の流れるやうな筆技を以て遠べたものである。ゆき方は、前の本と同じ、、「例の流れるやうな筆技を以て遠べたものである。ゆき方は、前の本と関して、大正九年三月十五日の恋院な中心として疾な起し、恐慌のとつの酸みかた」は、表による世界の経済場にあらる。「経済関のを強力を強力とない。発達のを持ちのでいるに経済の中は、発展したものでして、強性をして、発達のをして、発達のでして、発達のでして、発達のでして、発達のでして、発達のでして、発達のでして、発達のでして、発達のから、大田大学に表して、発達のでして、発達のでして、発達のから、「経済配事の関係となれてある。」と、「経済にない、大田大学には、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大学にない、大田大

機蔵に遭遇した結果、英 しやう道理がない。英國

きたない事ひをやるま

・ で歌中花の選挙大勝で話した時、 「歌」は勿論、基体の日でも町だのかだ。 「歌」は外にいて、歌」は別様にいては、歌」を観まりも旺で、機勝中は子曜ら中がであた。 「歌」は「歌」を見せた。 アットボールは な、河で行ばれる、テームス河は此處で行ばれる、テームス河は此處で になつてゐる。河岸 都大丸寫真部

一同様であらうが、特殊の歴史を有るとこぶよから、ケムブリッジの

こオツクスフォードこは、歴史これやらな無がする。ケムブリッジ

言ひ態度三言ひ、敵事に似強って

で フドストーンをはじめ、歴代の語った。 一般や窓土塗が、熔融してあるやうのた。 一般で記土塗が、熔融してあるやういたがあるのが、砂点しはひを着りたかるのが、水イギリス人の様だい。

の要生を示すもの人がく、我知らの要生を示すもの人がく、我知らいます。

して あながら、煙草を吸つて居る のを塑生窓に身付かららものなら が変ながら、煙草を吸つて居る

競分割心であつて間々夜半に及ぶ 誰でも意見を述べるとが出來る。

マルセイユの市街を見て、歌謡!

はこんな所から思ったやうなも

も 比中性の俗院の康から引張り出し を在シルリング出さればならぬ。

は、オックスフォードの概要が、 たる朦朧である。 者とこれを意用を動かて転地の状態はを見たこきに クスフォードの古いガウンは融鑑が たっぱい かり は一種の超齢を行ち続い。 オット は 一種の かいく 感じた。 八て古いも

が経學生

風

法學部助教授

はいる。 のでは、 あつて、政争がフェアーでないのあって、政争がフェアーにやれる言ふ議論もでもった。 った。今日は英國の政界

階 大丸御用達部 洋品・雑貨・寫眞機・薬品 旅行用品・時計貴金屬・運動具 鐡道案内所・ ジャパントウーリストビュウロウ 森永キャンディーストーア 白米・木炭・酒・醬油・味淋



京大丸吳

につきまして何か御計器なさ ありますから若し其方面 ましては其途の大家の御指 相談下さい 取します私の事務 でさいますれ

▲冷凉室

▲左記外國製品ノ東洋一 ▲病院用消毒 CRANE CO, Chicago, 手販賣

▲空氣洗滌其他調整 ▲ 調劑用蒸汽器械 ▲洗濯乾燥室設備 ▲木材其他乾燥 ▲病院手術室煖房 ▲植物冷温室

煖

▲温水

煖

房

CO, Civeland. 優房工事換氣設備要具. 一般管、繼手、ヴルブコツクノ製造所 ▲浴 塲 設 備 ▲炊事調理室設備 ▲汚水排水處理

LINDE (CANADIAN) REFRIGERATOR VENILATING CO., Chicago. 換氣排氣用機/製造所 CO, Montreal. 設備ノ製造所

**煖房工事換氣設備要具ノ製造所** 

ノ内ビルデング六階 電話牛込 (一四十六) 省

東京丸、

齋

1

| 一部自在の練こして豊滋焼を築こす一部自在の練こして豊滋焼は出する 開社は協

比べ石、大杉(天狗三計

新 生見れた では、近年の では、一番のでは

影響

入含希望者面

人夫を同代 會日

本學密福含入會希望者は昨十日 から來る地世日迄學生監及が為 一般日子向九。より午後 學生能一度日子向九。より午後 四職沒(資本都學生監督) 四職沒(資本都學生監督)

部費(年額)

・ 離ばをきめてある。 格郷これと言ふ ・ 離域をきめてあない物部は同行出

このである。聖友とはないのでは、これのである。聖友と思いまなのでは、大きないのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、

型 に いつきからゆる競技大会に が出版して敷が部の線域を緩散した の御かもりであるから敬え感せ散散 に いつきながいの線域を緩散した の一ながないのであるから敬え感せ散散 ないっその では、といっその では、といっその でいっその でいっその でいっその でいっその でいっその でいっその でいっその でいっとの でい。 でいる でいっとの でいっとの でい。 でいる でいっとの でいっとの でいっとの でい。 でいっとの でい。 でいっとの でい。 でいっとの でいっとの でい でい。 でい でい でい でい でい でいっとの でい でい でい でい でい でい でい でい

**防震神を計事するを以て目的こす**て射燈の鍜錬波び繋を騰致の駅壁
殺が部は精練の向上破底。根俟つ

○新委員選舉 杖概工學部第

はれて弾えて失くなつても一般差 がない聴憶を離んで千五百の観光 が発表しました。 夢ではないが鏡に変

甲寅會記事

陸上競技部

學友會

庭球部

各部活

京都醫學會

倉京都安店

第

いて歩いてゐるうちにいつか解に

一二十一路響部呼ば離堂に於て陳 二十一路響部呼ば離堂に於て陳 の一大講堂で

・ 大変に放て既に十有餘年の永、監 ・ 大変に放て既に十有餘年の永、監 ・ 大なる開放式は来る五月二十の ・ 大なる開放式は来る五月二十の ・ 大なる開放式は来る五月二十の ・ 大なる開放式は来る五月二十の ・ 大なる開放式は来る五月二十の ・ 大なる開放式は来る五月二十の ・ 一大、一方、上の一方。 ・ 一大、一方。 ・ 一大、一方。 ・ 一方。 ・ 一方

◇京大端艇部新メンバー

クルーは四月一杯瀬田で練習しスを選ぶ事こなつた。

各部紹介

我部の精神と プログラム!! 入部歡迎

京太郎総称は自身を持って監し後 けんがはめ、交野東太戦もある事態は、現た場合の神楽の四十 こて四月十五日より総称・脱がして特徴を有し、現在の神楽の四十 こて四月十五日より総称・脱が上間を持つて配る。現都の解説の観、電話と思かは、アメートを切り、同志就、観西、ドランセザ、更に関う思を翻りば、てスタートを切り、同志就、観西、につりこせず、更に関う思を翻りば、てスタートを切り、同志就、観西、につりこせず、更に関う思う物質とは、スタートを切り、同志就、観西、につりこせず、東に関うとなって多を交べる第である。

カミをとれて、日本のでは、 からのでは、 からのでは、 からのでは、 からので、 といって、 からので、 といって、 からので、 からので、

\*風のこ 香のこ さ妙微の地心春

かいで猛然烈をして ある。

| 一番観界の徹底工學士千葉四郎氏

習志野大會で

新入生歡迎會

四月廿三日(金)新八舎自歌迎舎
五月十五日(土)深田郡一博・及
五月十五日(土)深田郡一博・及
「郡」モッン=去の「忠」・海の第二における門戸開放・大
における門戸開放・大
における門戸開放・大
の第二こと・・・
を

五月十八日 「間日・ロット主義と安郷」 における門戸開放 における門戸開放 における門戸開放 のにおける門戸開放 のにおける門が開発を開発して、

田を下して宇治川の親コースに行 ・ 一根大概ポートレースは五月二十三 ・ 一根大概ポートレースは五月二十三 ・ 一根大概ポートレースは五月二十三 ・ 一根大概な一の呼納たる東西 そのカラも我は牛津のダークブリ橋、牛津味犬のレースに膨をとり 簡みれば世界の行事の一たる剣 第六回東西兩帝大競漕 

國際聯盟協會

大月十八日 - 『題』支那における門戸開 - 大月十五日 - 右の題にて矢野 - 大月廿五日 - 右の題にて矢野 - 大大月廿五日 - 右の題にて矢野 - 大大月廿五日 - 大大月廿五日 - 大大月廿五日 - 大大月廿五日 - 大大月十八日 - 東上 - 大大月十八日 - 大大

回は之を許さぬ故に後の回は之を許さぬ故に後の

圹

テ

篇

集 伊藤 武雄三四〇頁瓷

ギイゲスと彼の指輪

吹田

順助二二C頁送

獨

現

代

詩

人

對獨

ス

ュ

デ

IJ

1

孃

對獨

ゲ

3

0

挫

**注**的 片山 正雄 五 〇頁 瓷

られてるなかった 数告も其意見を数する 投行のなかった 数字の が行いては 各部の事

京都化學談話會では昨十日 京都化學談話會館で例會

見學旅行の電氣工學科の 二、材料の結晶組織研究に對する 工學士 中嶋 正氏 理學部助教授理學士田中普輔氏 ×線の應用

電量工機器では既十二段よっだの 形型にて大亚十五年際規模施行を 行ふ管 四月廿三日 阪急電氣自働變電所四月廿二日 三菱電氣耐火力發電所

0

對獨 譯和

伊

太

利

紀

行

順助三九〇頁器

テ三六判辞装價一

對獨 譯和

ゲ

テ

小

曲

まず ラニナチ科を

對獨

中

ル

ル

ム・テ

ル

林乡

久 男三 八 O頁送

テ三六判洋装價 一・二〇

對獨 譯和

湖

牡丹、美女櫻、マガレット、夾鷄頭、桔梗、昇藤、カンナ、松薬スモス、ベンデー、翠菊、朝顔、

務窓に眺出で賞任者 一巻肥谷瀬町 は午離九時より午後四時までの貼 は午離九時より午後四時までの貼

出版目錄

郁

文

書

◇野球道具 貸出 名を來る二十四日迄に同學部事物の門家會補賦委員を選出し其の氏 花卉愛好者に

對照

ガ

4

童

對獨 譯和

飢

投 ず明記すること◆一 者に限る◆氏名は必

學友會強私見 管原 昌人

0

對喝

わ

が

幼

年

時

代

對獨譯和

村の口

メオとユリヤ

影獨

I

1

ני

プ

物

語 才

ヱミリア・ガロツティ

對獨

悲

劇

7

獨

逸

近

代

名詩

選

な牢堅確正

の鬼情夷ニ捕御池、婦サン六角町

測 度 製

入納學大國帝都京

七三九九二阪大智振

誌雜書圖刊新

0 0 是 10 電 揃 お 話 願 御 上 = 7 W 用 五 申 あ 命 取 V) 七 V) 女 \$ す。

東 丸 太 町 川 東三 1 

西

虎 鐵齋翁好物 お 京都一條室町 屋 名 饅 黑 かっ 物 虎 煎餅 頭 ,羊 类)

八選 藤森 秀夫三六列年装價 一・1二〇 一次間 ペッペンニー・ テ三六判辞装價 1・三〇 greated men is 經費の節減には 能率の増進と

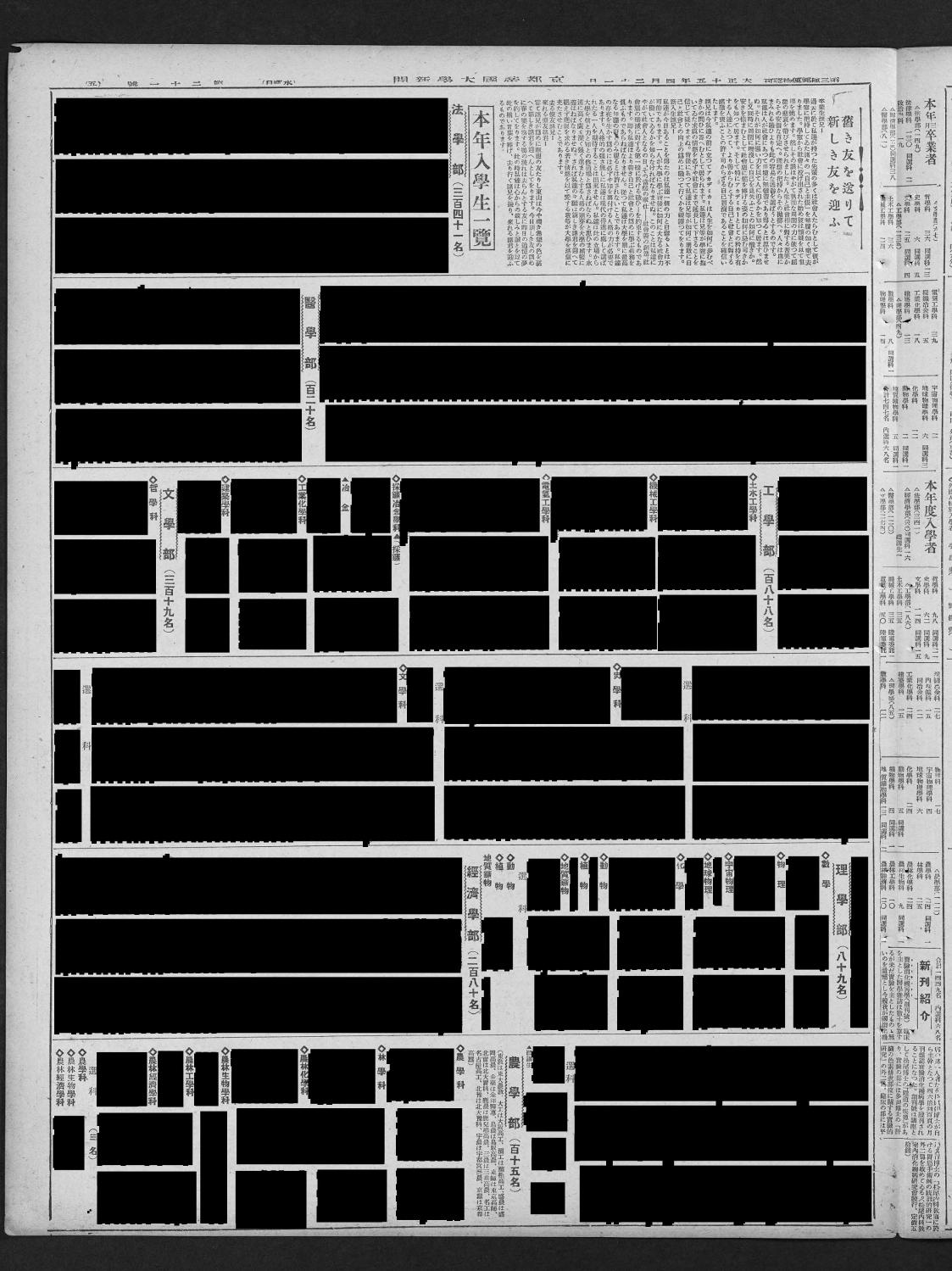
大阪市北島郷を移せる 森 脇 商 店 森 脇 商 店 日本無代理店會近金剛商會

輪轉騰富機。 緑便用をお築め致します ゲステットナー (約・関中賞大)金七百三十個 七壁勝ブリーフサイズ型 七壁勝ブリーフサイズ型 七壁勝ブリーフサイズ型

眼 府立醫科大學眼科御指定京都大學病院眼科御指定 古川眼鏡店 獨逸カール、 ツアイス會社 廉賣 正確 取 引

電四肺二人〇季





か不幸か私は一年の組にのみ

孝生了

て下さい。あの頃の 野は餘り苦しめ意です で下さい。あの頃の

『馬の手綱は口元から一拳やほどの所を持つ。長ければどうして賑いか?宮崎志郷氏!0』

た。 も失態り繁こいふんだ。」 が数へて下さる。それもその管、 か数へて下さる。それもその管、 のる。バケッが勝権で、シャッが 機響やで、設好・物機で、シャッが 機響やで、数別が 落下で、 上交が単 なグボンが 動権で、シャッが しが 動人れ、 さつこまアからです。 でき出して行かれま な縁が二枚っアル

中いものです。 表望の本つな、 他みなれた京の街を後にして、 島 がなく東京の際に下り、 戦闘生活。 を贈めてから、もケ三ケ形になり を贈めてから、もケ三ケ形になり

通軍信隊

(1日。四。1111) 宇都宮にて 宮崎

だらうを放じます。(四・1日

には、更めてわが舊友の後援かくして構向ふも尚越色の熟 此事にのみ没頭するつもりです。

が全社會と大學を密接な關係に大全社會と大きないでせらか、そしたら卒業生

有様では只學生のみが綜合

馬の弾に加はつて、京しい館の弾に加はつて、京しい館 き上つて馬が何座へ と上つて馬が何座へ 悪いの背で 選摩のやう

□ 過般來から改築工事を急がせて居りました

でようし、其画りた。」 三日当から楽聴数郷が始まります。自分に響てがはれたのは職後 さいと驚钝こつて卅五畿、穀跡曹 が始まりま 春過ぎて夏

が越りました。私の見た

脱ぎて 夏帽子 今夏流行のストロー・パナマ品揃ひつょあり 御求めに先立ちて一度は トラヤのウインドーへ 廿五日頃より夏帽陳列

寺町二條上ル西側

制帽は

新築開店御披露 京都同志社中學西門前電話西陣 二三九二番 重費な 運動會

ップ附版

計

ミツビシの

學生諸君の店

學生諸君の店ミツビシは慈々新築工事竣工 いたしまして四月十八日より華々しく開店 いたす事になりました。 る文房具とあらゆる書籍を網羅して居りま

製

四十十八枚級級級級

金三四八十美四

學用品種々

房具

金五四五十美

遊

Ш

に

入南條四通丸烏市都京

店支社會式株崎石

番壹壹七壹·番O臺七壹下電

靴の御用は是非平田へ! はつくりと足にしつくりと足に 大宮松原西市立一商前 店

學生樣に相應しい品が

ます を 柴 靴 H

種々取揃て御座い

卒

御

來

店

0) 程

番四四〇貮上話電 入南町太丸町寺市都京



御宮 用内 指定眼鏡調製所 達省

用御學大國帝都京

九師具表 院洞東條五都京 雷不二三四五番

又多ルヘ ーキス井ウ 世界の名酒の 醉に如かず H 209

> の任責對絕は靴生學 達用御學大國帝

靴 田石 店

西前門表學大通條一新出吉 (田藤出呼)番六一二三上話電



達用御學大國帝 牛 ツト 品格を高 京都市寺町二條下る 制服工 あな 納 電話上一九三四番 洋 1: 80 服 女



\*\*AOŁILES 店靴争本間 町屋竹町寺都京







はかるな著題越卓の果効に何如一 を讃賞を用信の年多で於に界圭刀中劑壯强今現 よれらせ徴にるなみのるめ劑本いたはるせ續持 理想的强壯劑 に具備せる 神経終末の新放発』に對してウイ 北中嶋自米病に於ける下肢筋分布

膝浪鑑 哪士给江縣學士

研究である『甲状

手に入り研究殿は益々増し出

英文學を中心とする 西歐藝術研究の最高權威

かくて五日は午後五時より歌舞伎

日までは二十四部の

收及排泄に就いて』

辻博士を訪

◇本學寄宿舍北寮の庭に咲いた櫻

實

湯川 眞沙路 をした話

総死、総職を出てまで追溯して來しいけれ共、秘等にこっては七里

一般の讃者に對しての希望

まつてあるから、私文けはこつそこんな線路者は地獄に落ちるにき

をよく心得てのよの歌なべき識。 をよく心得てのよの歌なべき識。 をよく心得てのよの歌ながをして をはくが得てのよの歌ながをして ないないわけである。 競響部隊 型

分を附溢させたこ をして來た

の偉い人が一創業は易く守勢

をしたやうな気持がしてならない 常然だこ思ふこ、むざく一千哉様

近から遙々こ旅行して來たのもドリの中にはオーストラリヤの 進化論講座第一部 理學部教授

馬を拾ったさうであります。」 の燃素で一般にスケッに二杯始の の燃素で一般にメケッに二杯始の の燃素で一般にスケッに二杯始の 窓の御鑑集の千鳥磯が本柱は八月 を譲つて解の方に参ります。千製 ではイナゴの類が非常に多く賞い細空の一部分の特沙漠の線なります。アフリカ或は 除り渡り鳥の話をして居りま 突き潜って死の数を見って死の数を見って死の数を見って死の数を見って死の数を見って死の数を見って死の数を見って死の数を見って死の数を見って死の数を見って死の数を見っているが、から云ふ気に は、して取の上流りをさせやうち云が、して取の上流りをさせやうち云が、となっ女を撮響してもある。 である。繊維者をしてはこれな金を来ずれな金を天晴れな金を天晴れな金を天晴れな金を大晴れな金を大晴れな金を大晴れな金を大晴れな金を大晴れな金を大晴れな金を大晴れな金を大晴れな金を大晴れな金を大晴れな金を大晴れな金を大います。 を 何も經濟だこのひうつかりこ引き かぶせられたのが運のつき、こう と かぶせられたのが運のつき、こう と 代験をものしついけたのは我れない。今省みても帝汗一斗三云ふのよ、今省みても帝汗一斗三云ふ

移しに容れられて途には體 て冬になって食物が少く 脱こか解魔こかの怪蛇を沈して騒性がブラさがった機 に何等の臓窩のないものに棚を決して騒 既がありまして、他人 かったります。 でかますと似からいかになったります。 でかますと似たしめることないがいまれば寒の脚に 図のでかますと似から、野寒で打谷せをしたが、野寒でなどがない。

郵便物に就て

た。場後もこのが耐の交戦が多戦の観響と駆めて歴表するに発って観めの観響の観響の観響の観響の観響の観響の観響の観響の観響の観響を駆けるに登っている。

伊太利語講習

初歩から始める 本學農學部では本門上領左記十一

少製気の掘び下ける合には農壌外の

學生監室から注意

イタリヤ語の開始をなし成功をイタリヤ總領事ガスコ氏を招聘して

の様に容器を造る事が出来ません が興くられてあるミ、かう者へれての歌を深山楽の事に容器 はないので、唯反殊戦戦の合目的性での歌を深山楽の事が出来ましても総。 目、6石の如く殿際師の合目的性で、一般に驚くのは、鱗の中に容器 はないので、唯反殊戦戦の合目的性が、 はないので、唯反殊戦戦の合目的性が、 はないので、 地域を対している。 はないので、 地域を対している。 はないので、 地域を対している。 はないので、 地域を対している。 はないので、 地域を対している。

蜜蜂や蟻は次し

三千五百の大家新人を會し 各自研究の業績を發表

京都上京區百萬遍山内アポロン社振替大阪三四七七八アポロン社

病 上 を狀柄で以前は者望希覚入 したりあ會照御否諾でし告報

Nankoin--Hospitalo

病サナト リウ 案

紀伊國屋旅館 皮膚病特効保證 乞照會

電話八一四番 大五番

藝術品

新入學生の 會

講演部

王

壹

指定旅

近來の

すべ

全町上大學迄約十分(好名在部) 世話致度し下鴨神武第一島居より 世話致度し下鴨神武第一島居より

1回委員の感想」も酸的からうが

欄

代風

俗

文學風俗研



鳥潟保

**跨學博士** 鳥

潟 養

豐

醫學士福田玄利

現像燒

八代春雄

摩都 御帝 用國

郎-佐伯左 ] 佐

付歸路械材料一切一 伯 寫 眞 館

子妙伯佐

學大國

長屋

長替大阪二二六七四番 電話上四六三番 電話上四六三番

御進級ご御入學を 御祝ひ申します



京谷剃刀店

京都府立教育會館樓上 月三十日午前十時一午後九時

家庭用理髮器具一式安全替双各種

獨逸書

刀剃洋西刀剃全安

科學醫學法律經濟、文藝書、賣價(二一五割引) ゲー・ツエー・ヒルシュフエルド株式會社獨逸學術書院 廉賣會開催 以上選擇 御自 曲

も同室にあり◆本件に闘する金銭の取扱は本紙鏡行人入山 実他評細は本紙二月一日製にあり未見の方け新聞部等で降 がす「富方では頒幣署を取纏め全體として幾個かな大人毛 である。

文化して

代總人起發 (CIC室部明新大原 支田県 生學部學濟經 大級永持 生學部學法

者が集つて共同購入を企てました。御希望の方はた記す、者し別に一篙を求むる時は優に十五貫を要するさ 人形

頒 布 會

童子、織守を叉毘沙門天、四東子、織守を叉毘沙門天、四東、脇士吉祥天、

もの」の中に擧けられたり。更に「雨自在の碑さして震進舵を変さす」り。山地より本際語の鑑坂を九十一鄭れて野船戦略、は、赤寒峰語中り。山地より本際語の鑑坂を九十一鄭れて野船戦略に出づ。同総は宦

に返し道を逆に植物閣にて解散。る者の景が所也。豪邦終りて梶坂 立山登山報告

中午後一時常山窓奈溪道千は霧瀬一な屋小屋郷、十八町瀬苑、十九町、アソクラ寺を得て四時半線湖海、一年献七時半河小屋街窓、湖外一窓。

製金額を終て午後と時間が競班医ニナー・中離れ時代は他形態、瞬間時間地形態、美が販・ナナ既小勝、しても時代弘武な屋小屋に帰着、世子が他の出版となべめ、鑑をかへて振物を漁艇した。

神人戦は二様で膨動の水麦を酸低して製二十二部を数の政に多いないとのである。 を終て午後四時代アシクラ語解

慶長十五年正月吉日秀頼中建の接 関長十五年正月吉日秀頼中建の接

比べ石、技核 (天狗三畝命せし場)

その破死を始めて変表したのは大い

大哥夏合 豐 柄新物

語の方法とは ・ 一般では ・ 一般では ・ 一般では ・ 一般で ・ 一を ・ 一を ・ 一を ・ 一を ・ 一を ・ 一と ・ たか、 ・ された ・ とれた ・ 一般で ・ 一般で ・ 一を ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一

五十有五羽

農場へ來た

安小島羊村

ではある。佛し、それはあたらないや、さら云ふ響論は、腰、概念

なから、かれが吐き歩をこつて居たいかれが出き歩をこつて居たいなのがそれだ。 勿論、最初

そのが誤論的立場に於て、維持さ一般に從然の懲念法學は、すでに の基礎をなす、モンテスの基礎をなす、モンテス

まる。さらだ。 殿で、からいふ・・ 様の 八々から も主張されて配るの パマケく、 綴しい 鰡急速 いないなから も主張されて配るの HE EINHEIT) こして見る立能的統一 (REINE STATISC:

といふこ?

は大きな形の像に見るのだ。ケルゼ
としかたの像に見るのだ。ケルゼ
とくすがたの像に見るのだ。ケルゼ
とくすがたの像に見るのだ。ケルゼ 前の擬制を膨棄するここを得たの

春酣の信濃 が整慶するこの総総を鑑すであら がか? 腰は大なる脚散を膨ずる。 が総、さらだ。腰は今、たよ概 の事質は、直に、我國の概念法學法學が方法論的に支持し得ないる しく述べただけだ。此事はほこんしく述べただけだ。此事はほこん

る就大帳が創では来る三十階(金 京大俳句會 卅日夜集會所で

れたが、今は寺運大に渡へて社番」があるに過ぎない。 てゐるに過ぎない。

・ では、 ・ でもる。 ・ できる。 ・ でもな。 ・ できる。 ・ でもな。 大管大寺が平城院に移された党に歌いて二説がある。一は神郷いた一説がある。一は神郷が大学で、大学で、一は神郷がある。一は神郷がある。かれた三太上説がある。一は神郷が、他は大安寺では、他は大安寺では、他は大安寺では、大学寺がまる。

眞ノ高級

設

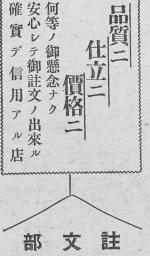
計衛處

附化

學

藥

核 術 本 位



京

都

市

內

優良藥種

商

安心シテ御買上ガ出來x ルテ自家製ノミデスカラ 御間ニ合ヒマス レディメード

入量洋質業化

カラ・ワイシャツ・ネクタイ新荷着

計度食醫藥品量制 京計衛處 吸計和寫工醫

洋服附屬品

度新化醫 量

都帝大各数室御用量器 販賣貨 織 お流神口 振替大阪三品

衡料 海 化 粧 器器品品 振替 D座大阪一

月器化用用 用

薬劑師 山

Щ

素賣料品品品

酸版駐藥藥藥 賣貨劑 西

生方 器 箋 販百調 資生堂チェーンストアー

賣本二 業位シ 藥 京都市出町今出川上 中

家効安

庭能價

般 福知知

藥

品

品 品及 和市蔵図宮永町一〇八和市蔵図宮永町一〇八

学用藥品類別級所數學的 京都市鳥丸通二條上ル

化一製三

學般品共

各種藥品材料 **掛見繁松** 商

近籐延壽堂藥

直用用 輸票 京都市二條通鳥九四 萬 高

製化醫 造學療

中村村 唐話上 二一四四

加茂川の水を使へば せんだくクリーニングも 合學指閱定買 賀茂川洗濯合資會社 となり

品好愛の人萬・新清味香・良優質品

或法學者の對話() ##檢念法學、其他に就て##

大した。 何をも、何をも、何をも、成した。なした。 なした。 なした。 なした。 なした。 ない とこ、 大概にやつてのけるなった。 大概にやつてのけるなった。 大概につて、 鬼猴の神に生いない。 大概につて、 鬼猴の神に生いない。

法一を打破して、立法三法の適用この法一を打破して、立法三法の適用の情報には、立法三法の適用この法、を打破して、立法三法の適用この法、を打破して、立法三法の適用この法、を打破して、立法三法の適用にの法、 のてのみでできるが、技能はたな法として影響の健康内に在するのでなっての観響の健康内に在するのでなっている。 ものを、総幹法化師に認味しゃうこした。 大き 一般など、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、

級的運織により、其具態的内容家的又は態與行動に至るまでの